

平成 24 年度事務事業評価調書

事業コード	04010501	区 分	■ 実行 □ 経常
事務事業名	奥河内観光事業	担当部署名	地域振興課むらづくりグループ
		作成責任者職氏名	課長 北浦秀明
		内線	451
第4次総合計画体系	(基本柱)	(基本施策)	(細施策)
	04観光・産業・地域振興	01観光の振興	05広域観光の推進
実施期間	□ 単年 ■ 継続 (平成23年度～ 年度)		実施方法 □ 直営 □ 委託 ■ 補助等
根拠法令等	□ 有 ■ 無	法令等の名称	— 義務付け □ 有 ■ 無

I 事務事業の概要<Plan>

(1)事務事業の目的及び内容	(2)対象(誰を対象とするのか)
<p>①目的</p> <p>金剛山の魅力を情報発信することにより観光客を呼び込み、交流人口を増加を図る。</p> <p>②内容</p> <p>河内長野市との連携により、金剛山から岩湧山の「奥河内地域」で交流人口の増加につながる各種イベントの開催や観光ボランティアの育成を図る。</p>	<p>村民及び村外</p>
(3)期待される効果(本事業によって対象者をどのような状態にしたいのか)	(4)事務事業を進める上での課題や問題
<p>観光振興により来村者の増加を図り、村内の商工観光業者の事業収益の増加。</p>	<p>河内長野市との連携</p>

II 事務事業の実施<Do>

(1)事務事業の事業費及びコスト費								
	22 年度 実績	23 年度		24 年度 事業費(見込)	25 年度 事業費(見込)			
		事業費(予算)	実績(見込)					
事業費(見込含む)(千円)(A)	0	350	350	350	350			
財 源 内 訳	国庫支出金							
	府支出金							
	分担金・負担金							
	使用料・手数料							
	起債							
	その他の特財 一般財源		350	350	350	350		
人 件 費	一般職員所要人員(人)(B)		0.10	0.10	0.10			
	一般職員人件費(平均 給与×(B))(千円)(C)	0	622	622	622			
総コスト費(千円)(A+C)	0	972	972	972	972			
人口あたりコスト(円)	0	158	158	158	158			
(2)成果指標等								
番号	指標区分	指標名称	単位	23 年度			24 年度 目標値	25 年度 目標値
				目標値	実績値	達成率(%)		
①	目標指標	観光ボランティア育成(再掲)	人	5	12	240%	5	5
②	目標指標							
③	目標指標							

III 事務事業の評価<Check>

(1)成果の自己検証		
評価項目	評価結果	評価の理由及びその考え方
①妥当性 ※施策の目的が村の政策体系に貢献しているか	4 4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	交流人口の増、観光客の増につながった。
②有効性 ※期待された効果が得られているか	3 4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない	交流人口の増、観光客の増につながった。
③効率性 ※効率的に進められているか	3 4. 非常に効率は良い 3. 概ね効率は良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	河内長野市と連携し、効率的である。
④公平性 ※受益や負担が公平になっているか	3 4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	金銭的な受益を得る住民は一部であるが、村の観光地としての受益は、住民が等しく受ける。

○事務事業評価値 (①~④の合計/16) **13** / 16 **81%** (B)

(2)検証結果			
目標指標評価値 (A)	事務事業評価値 (B)	総合評価値 (A)+(B)/2	評価ランク(改善の目安)
240%	81%	161%	a
a: 90%以上(現状維持又は拡充) d: 30~49%(休止・廃止又は縮小) b: 70~89%(見直し又は現状維持) e: 30%未満(休止・廃止) c: 50~69%(縮小又は見直し改善)			

IV 事務事業改善の方向性<Action>

(1)改善の方向性	
①改善の方向性(自己評価)	← A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
B	
②改善の方向性の理由、改善する上での具体的な改善策や課題等	
金剛山の魅力を情報発信することにより観光客を呼び込み、交流人口を増加を図るため、引き続き実施する。	

V 事務事業評価結果(担当者は記入しないでください。)

(1)政策担当結果	
金剛山を核として集客増の施策展開が必要であり、引き続き実施すべきと考えるが、今後、河内長野市との連携方法について、検討する必要がある。	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
(2)第三者による有識者会議結果	
	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
(3)行政経営戦略会議結果	
金剛山を核として集客増の施策展開が必要であり、引き続き実施すべきと考えるが、今後、河内長	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止

野市との連携方法について、検討する必要がある。

U
D: 縮小
E: 休止・廃止

(2/2)